

平成25年度 清瀬市立 清瀬第二中 学校 学校評価 評価表

学校教育目標 愛情(より豊かな 心を培う) 学力(より深く 自ら学ぶ)
 勤労(よりよくはたらき 責任をはたす) 健康(よりたくましく 心身をきたえる)

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 1. 確かな学力を身につける(英知を出し合い生徒と教師で互いに高めあう授業)
 2. 自己実現に向けて努力する(社会に出て通用する基礎を身につける)
 3. 自主性・自律性を高める。〔したい〕「やるんだ」という志を育成する)

【目指す児童・生徒像】 1. 豊かな情操を育む生徒 2. 自分で考え判断し行動する生徒 3. 社会性のある生徒 4. 心身ともに健康な生徒

【目指す教師像】 1. 共に力を出し合う教師 2. 共に汗を流す教師 3. 自らを高める教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

1. 教員の異動は少なかったが若手は増え一生懸命である。1・2年生の一部生徒が落ち着かないというのが課題はあるが、自ら意欲的に学ぶという姿勢を育みたい。
 2. 生活態度については地域からの注意も多く、基本的な生活習慣の確立という課題がある。生徒理解に努め、粘り強く指導する。大部分のいい生徒を伸ばし、課題のある生徒は、保護者や地域と連携して

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標	
豊かな心の育成	1年生・2年生で職場体験を3日間ずつ実施する。外部人材を活用して講演会や出前授業を実施する。	3	3	・1、2年生共に実施するが、1年生の実施はこれからである。事前学習としてのキャリア教育を、1年生は青年会議所の方の出前授業を行う。2年生は、ハローワークの方の出前授業を行い、3日間の職場体験の成功につなげた。常識をしっかり身につけさせたい。	3	4	キャリア教育の一環として充実した職場体験ができたが、マナーの面で課題があった。事前指導でのマナー指導の徹底を図りたい。しかし、意義の方が大きいので継続していきたい。
	年3回のふれあいアンケートを活用し、いじめの実態を把握する。また、組織力を高め、いじめや不登校の解消に取り組む。	3	3	・毎回、ふれあい(いじめ防止強化)月間に合わせて定期的に調査をしている。今年度はいじめ問題も発生し、市の統一様式で行い事後指導まできちんと行った。また、教育相談部会と校内委員会の充実を図っている。	3	3	いじめ発見と対応を素早く誠意をもってやる、ということが課題である。全教職員がアンテナを高く張って発見を早くし、さらにいじめは絶対に許さないという学校の雰囲気確立する。二年生でいじめ防止プログラムを実施できた。
確かな学力の向上	校内研究を通して特別支援教育を理解し、授業規律の確立と授業の工夫・改善を行い授業力を高める。	3	3	・小学校の教職員と協力して学力向上を図る。授業規律の確立と授業の工夫という点ではまだまだ研究の必要がある。各教員が年1回は必ず研究授業を実施する。	4	4	小学校とのつなぎの部分で工夫の余地がある。校内においては、全ての教員が研究授業を行ったことは意義あることであった。さらに深めて指導方法の工夫・改善に努め、授業力の向上を図りたい。
	自ら挑戦する気持を育て、漢字検定、数学検定、英語検定などを実施する。	3	4	・漢字検定、英語検定、数学検定は3回ずつ実施し受験者も安定している。各種の検定に挑戦することで学習への意欲付けに結びつけていきたい。また、結果だけでなく途中の勉強が大切であるということを実感させたい。	3	4	漢字検定と、英語検定は、毎回、安定して受験者が多いが、数学検定は難しいこともあってあまり増えない。年間3回ずつやることに意義があるので続けていきたい。
健やかな体の育成	多くの生徒の部活動への参加を図る。地域のクラブなどの活動でもいから運動習慣を育てる。	3	3	・新体力テストに全学年が取り組めた。都や全国平均より低く課題がある。自分がどのように意識してトレーニングに取り組むことが、体力向上につながることを理解させたい。また、授業や、部活の中での基礎体力づくりやくり返し練習、走り込みを全校で取り組み意識を高めていきたい。	3	3	スポーツ教育推進校としての講師手配によるTT授業で体育好きが増えたが、まだ積極的に様々な場面で運動に親しむところまで拡大できていない。良く食べて身体を動かすように食育指導や健康指導にも力を入れる。家庭や地域の協力も不可欠である。
	授業や自主トレでも持久走に取り組み、全生徒のマラソン大会参加を目指す。	3	3	・1ヶ月前から授業で持久走の練習に取組み、マラソン大会当日大きな成果をあげたい。自主トレに取り組む生徒を増やしさらに、苦しさ立ち向かえる心を育て参加率を高めたい。意欲付けに練習カード等を考えたい。	4	4	実際のマラソン大会への参加率は、全クラス90%を超えてしっかりと参加し走った。常に新しい記録を生徒昇降口に掲示していったのが有効であった。やる気の向上につなげる工夫をしていきたい。
本校の特色①	授業を活用し、数学・英語の基礎力の定着を図る 放課後の補習授業を行う また、家庭学習の習慣化を図る	3	2	・授業を大切に。家庭学習の習慣化を図り、確実に力もつけさせたい。どのように学習習慣をつけるか、学習への動機づけを高めるかが課題である。各場面で検証し、褒めて自信を持たせる。補習授業がある程度できた。学習サポーターの活用も図れた。	3	3	全体的に授業態度が良くなった。学習への意欲も高まってきている。しかし、一方では、まだ気持ち勉強に向いていない生徒もかなりいる。家庭学習の習慣を図るために、家庭への働き掛けを強め、キャリア教育を計画的に進め、学習への動機づけを図りたい。
	長期休業中に各学年でなるべく多くの補習授業を実施する	3	3	夏休み、今年度は1年生が10回、2年生が10回、3年生が12回補習教室を実施した。家庭学習習慣の定着を図りたい。	3	3	三年生については、冬休みの数学の補習教室を実施した。基礎学力のついていない生徒が多いので底上げを個別指導に近い形で図りたい。
本校の特色②	全校規模でグリーン運動、あいさつ運動、リサイクル運動を行う。	3	3	生活委員のあいさつ運動で、元気良くあいさつをするようになった。保護者や地域の手伝いもあり校舎内の美化に努めた。雑草の除去が思うように進められなかった。リサイクル運動も意識を高めていきたい。	3	3	2学期の中盤まで落ち着きがなかったが、生徒と積極的に関わることで一定の安定を取り戻すことができた。自らあいさつをする、という課題がある。朝玄関に立ってあいさつをする。
	年間2回の街頭募金を東北の義援金として実施する。東日本大震災の勉強を実施して募金活動により多くの生徒の参加を促す。	4	4	東日本大震災の勉強会にたくさんの人が参加して、駅頭募金にも200人以上の生徒が立って30万円以上の募金を集めることができた。東北復興に意識を向けて日常生活でもできることを実践させたい。	4	4	生徒会の活動で暮れの東日本大震災義援金募金活動に200名以上の参加を得て約32万円の送金できた。日常生活で、あるいは道徳、総合などで3・11を忘れない、考えさせる授業を実践する。